

# ぱれっと

2009  
12月  
No.124

■ **すぽっとらいと**  
(特活) KHJ宮城県タオ  
悩める若者とその家族を支援する

■ **アラカルト**

＜お役立ち情報＞ **助成金**

- サポセン日記
- お知らせ
- イベント紹介

みんな知りたい助成金のいろは  
申請時のポイントを紹介！

10周年記念サポセンアルバム

Album No.9



ぱれっと (1999年8月～)

おかげさまで、ぱれっとも10周年！  
サポセンの歴史が詰まっています。

初めてぱれっとを発行したのは、サポセンが開館した2ヶ月後の1999年8月。それから、移転の時も1度も休まずに発行してきました。

今では印刷&紙折りは印刷所に頼っていますが、昔は印刷から紙折り、そして帳合いまですべてがスタッフの手作業でした。

ぱれっとは、これからも市民活動に役立つ情報を毎月発行していけるよう、精進していきます。

★古紙再生紙を使用しています。  
★大豆油インキを使用しています。

# すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

## 悩める若者とその家族を支援する

### 特定非営利活動法人 KHJ宮城県タオ

引きこもりの当事者とその家族を支援している、KHJ宮城県タオ（以下、タオ）。機能不全に陥ってしまった家族の支援をしつつ、引きこもりに悩む若者にも向き合っています。

今回は、ご自身も引きこもりの子どもを持つ代表の佐藤傑（マサル）さんにお話を伺いました。

#### ● タオの歩んだ道

「タオ」とは、中国の思想家老子の言葉で「道」を意味します。どこまでも続く果てしない道の先に光明を見つかることができるように命名されました。KHJのKは強迫性神経障害、Hは被害妄想、Jは人格障害を表しているそうです。

KHJが付く団体は全国にあり、KHJ全国連合会代表の奥山雅久さんが全国をまわって、フリースペースやフリースクールの代表の方などに立上げを要請し、各地に加盟団体が誕生しました。それぞれスタイルが違って、タオは当事者の親だけで構成されているのが特徴です。

タオの設立時はフリースクール主宰者の方が代表でしたが、事情があって半年で脱退。それに伴い、約100名いた会員が8名になってしまいました。解散の危機に直面した佐藤さんは「まだ何も良くなっていないじゃないか。動かなければ、何も変わらない」と思い、代表を引き継ぎました。

そして、もとの会員100名に手紙などで地道に声をかけ続けた結果、40名ほどが戻ってくれました。

最近では参加者の年齢が上がっていることもあり、月例会の集まりがさらに難しくなっているそうです。「早くなんとかしなくては」という佐藤さんの想いは切実です。

#### ● 原因も、立ち直りもきっかけは「人」

引きこもりの原因は「人間関係でのつまづき」が多いそうです。また、引きこもりになってから、軽度の発達障害（ADHD、LDなど）が判明するケースもあるといいます。しかし児童とは違って、大人の軽度発達障害は公の支援制度の対象外となってしまうのだそうです。また、長期化した引きこもりによって人格障害やうつ病などを引き起こしてしまうこともあります。引きこもりのためにお医者さんに行けず状況が改善されないこ

とも多いそうです。

「とても繊細な子が多い」と佐藤さんは感じています。「こうありたいという理想があるんだけど、その理想と現実のギャップに苦しみ、繊細であるがゆえに、心がへばってしまうんですね。ただ、何か成功体験が得られれば、立ち直る可能性はあります」

引きこもりは「その家族の問題」として捉えられがちですが、現実には家族だけの対応には無理があり、かえって糸口を見失い泥沼化してしまう可能性さえあるといいます。



▲ 代表の佐藤傑（マサル）さん

#### ● 第三者が家庭に新しい風を呼び込む

家族機能回復のためには、適切な対応ができる心優しい第三者の支援と介入は欠かせないというのが、タオの考えです。このことから、訪問サポート士の養成・派遣をしています。第三者が家庭を訪問して、当事者やその家族に対して寄り添い支援することで、展望を開くきっかけとなることを目的とした事業です。現在45名の訪問サポート士の登録があります。しかし人が相手のことで、相性にかなり左右されるので、なかなか難しく、成功例はまだ少ないとのことでした。

## 団体紹介

### 特定非営利活動法人 KHJ宮城県タオ

佐藤さん自身も、相談の対応をしています。「自宅訪問や相談などで私がしていることは、交通整理のようなものです。フリースクールやフリースペースの紹介、時にはお医者さんなど、必要としている情報を提供するわけです」

相談対応するうえで、信頼のできる情報を提供することを求められると思いますが、他団体やお医者さんとのつながりは、どのように作っているのでしょうか。「8年間の積み重ねとしかいえません。県のネットワークに加入していることありますが、講演会などに行ったら名刺交換をしたりしてつながりを持ちます。特別なことをしているわけではないんですよ」と佐藤さんは語ります。

### ● 社会復帰の難しさ

引きこもりは、当事者だけでなくその親も社会から孤立していくそうです。当事者の年齢が上がっていくということは、親も高齢化していきます。子どもが引きこもったまま定年を迎えたら…。親御さんたちは非常に大きな不安を抱えています。

2009年7月1日、ニートや引きこもりの若者の支援体制を整備する「子ども・若者育成支援推進法」が成立しました。この新法を学び、参画し、発展させ、悩める若者たちの未来に光をあてようと、11月7・8日、タオが主催の全国引きこもり家族会～支援者代表交流・研修会：仙台大会が仙台市民会館にて行われました。親のありかだけでなく、社会のありかや教育に問題はないのか。競争社会にさらされ傷ついた心をケアしたり、こぼれおちてしまった人をすくいあげる仕組みは必要です。



### 取材を終えて…

お話を伺って感じたのは、佐藤さんの「なんとかしたい」という想いでした。さらに解散の危機を乗り越えた時の手紙をはじめ、講演会などに積極的に参加し名刺交換を通じてつながりを作ったり、月に一回タオ短信を送ったりと、その想いをこまめに行動に移していました。熱心にお話してくださる様子から、このまじめさと熱意に人が応えてくれるのだろうと感じました。

(担当 菅野 祥子)

引きこもり当事者及びその家族を支援し、社会に実情を広く理解してもらい、国や行政には引きこもり対策の整備を働きかけている。引きこもりに悩む若者たちが、次世代を担う希望あふれる人間として生活できる社会を創ることを目的としている。

活動内容は、月一回の例会の他に引きこもりの子どもを抱えるお母さん達の集まり「コスモスの会」、同じくお父さん達の集まり「おやじの会」がある。また、在宅の仕事ができるようにサポセン7Fにて専従スタッフによる当事者対象のパソコン教室を開いている。



■ 設立 2001年7月

### ■ 連絡先

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3  
仙台市市民活動サポートセンター  
レターケースN0.85

TEL 090-6781-7879

メール khj-tao.miyagi.@triron.ocn.ne.jp

HP <http://www17.ocn.ne.jp/~khjtao/>

### サポセンの ココが使える!

#### ■事務用ブース

「公共施設に事務所を持っていることが、団体の信用に繋がっている」と佐藤さん。入居審査という、他者からの評価をクリアしていることが、相談者の方々に安心感を与えているようです。「少し高いけど、信用は大事だから」

#### ■骨プロ

骨プロを利用して見て、仙台市内10箇所だけでも自分の足で回らなくていいのは本当に助かったそうです。「その分、情報網のない郡部に労力を回せるからね。郡部への情報提供をどうするかが問題なんだよね」（佐藤さん自身も郡部にお住まい。その必要性がわかります）

# アラカルト

◆市民活動に役立つ情報やサポセンで開催された講座や事業の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

## 【市民活動お役立ち情報】

みんな知りたい助成金のいろは  
申請時のポイントを紹介！

# 助成金

市民活動の活動資金調達の一つとして、助成金があります。助成金は、主に企業や財団などから一定のプログラムに従って提供される、活動を支援するための資金です。

今回のアラカルトでは、助成金を上手に活用するためのお役立ち情報をお伝えします。  
(担当 太田 貴)

### ■助成金ってなに？

助成金とは既に述べたように、活動の支援のために提供される資金ですが、むやみやたらに、ばらまかれるものではありません。助成金獲得のためには、まず、助成金の特徴を知っておく必要があります。

以下に、助成金の主な特徴をまとめました。

#### ○制約が多い

助成金は、その制度を設けた「ねらい」があり、使用目的が限られています。また、経費についても「事務所の維持経費（家賃など）、スタッフの人件費、備品の購入費、会員の親睦のための経費」などは対象外とされる場合が多くなっています。

#### ○獲得できるかどうかわからない

助成金は公募制のものが多く、獲得できるかどうかは審査の結果が出るまでわかりません。助成金が獲得できたとき、獲得できなかったとき、どちらの場合も想定した計画や準備が必要です。

#### ○期間限定である

何年間も継続してもらえるものはほとんどありません。「同一団体に助成する回数を3回までとする」「最長3年間」など期間を限定している場合がほとんどです。

#### ○報告の義務がある

資金の提供を受けるのだから当然のことなのですが、助成金を利用して行った事業については、その実施内容や成果について報告する義務があります。

これらの特徴を理解し、自分たちの団体の事業方針や計画を踏まえ、その内容に合った助成金を探すところから始めましょう。

助成金は、活動を進めていく上で大きな力となりますが、助成金に合わせる形で本来の活動の趣旨がぶれてしまったり、頼りすぎて助成金の切れ目が活動の切れ目となってしまったりは元も子もありません。

また、助成金による事業を拡大しすぎると、その事業の実施のために労力や時間を費やすことになり、他の事業を実施する妨げになる場合もあります。助成金を得ることが最も良い方法なのか、団体内でしっかり検討することが必要です。

### ■助成金の活用時期・使い時

「団体を立ち上げるので、当面の活動資金として助成金を獲得したい」と相談に来る方がいらっしゃいます。しかし、活動期間が1年未満の団体が応募できる助成金は、あまりありません。なぜなら、これから立ち上げる団体となると、これまでの活動実績が無いため、組織の実態や、事業の実現性などについて、助成金を提供する側や審査する側が見極めるのが非常に難しいからです。

一方で、すでに軌道に乗り、円滑に実施されている事業に対しては、応募する側も、審査する側も助成金の必要性を感じないことが多いものです。

では、一体どんな時期に助成金を活用したらよいのでしょうか？そのポイントは、助成金を提供する側の立場になって考えてみるとよくわかります。同じ資金を提供するのであれば、効果的に使ってもらいたいと考えるでしょう。これまで一定の成果を上げてきた団体が新たなことに取り組もうとするときや、団体が活動を飛躍させていこうとするとき、組織を改革していこうとするときなど、団体がステップアップするための節目に資金が投入されれば、得られる効果も大きくなることが期待できます。

## ■助成金を提供する側の期待を知ろう

助成金の提供者は、それぞれが目的を持って助成金を設定しています。助成金の応募要項や説明文には必ず、その目的やねらいが書かれているはずです。応募しようとする事業が、その目的やねらいと一致しているかどうかを確認してから、応募しましょう。

もしも、目的やねらいがわかりづらいときには、直接、問い合わせてみるのも良い方法です。自分たちの活動も説明しながら相談すると、具体的なポイントが見えてくるかもしれません。

## ■申請書類を書くときのポイント

申請書類を書くにあたっては、基本的なことですが、応募要項をしっかりと読みましょう。

目的やねらいはもちろん、どんな団体が応募できるのか、助成対象となる経費、助成対象とならない経費は何か、事業実施における注意事項、報告書提出期限など、しっかりと確認をすることが大切です。

初めて助成金申請をする団体には、審査基準が明記されている助成金への応募が、わかりやすくおすすめです。

以下に、審査基準が明記されている助成金へ応募する際の申請書の作り方について、簡単に説明します。

- ① 助成金を提供する側の、「目的・ねらい」を整理する
- ② 「審査基準」を確かめる
- ③ 応募する事業の目的・ねらいを書く  
(①との整合性をチェック！)
- ④ 応募書類を、②の基準に沿って書いていく
- ⑤ 応募要件を満たす形で事業の予算を決定する

このとき、①との整合性や、自己中心になっていないかも気をつけましょう。自分たちの団体がどれだけ苦勞をしているか、助成金を獲得すると団体にはこんなメリットがあるなどと、ついつい

書いてしまいがちですが、助成金は、あなたの団体だけを支援するためのものではありません。あなたの団体が助成金を獲得することが、どのように、提供者の目的達成に寄与するのかを意識しましょう。

団体にとっては常識と思っている社会問題に対して、審査する側が精通しているとは限りません。何も知らない人を説得するつもりで、具体的なデータや根拠を示すことも忘れずに、要点を具体的・かつわかりやすく書きましょう。

⑤は、「助成金は全事業費の何割まで」「上限額はいくら」と決められている場合がほとんどです。助成金の使途に制限がある場合は、その点も注意しましょう。

最後に、今までの注意事項をまとめた「助成金申請書作成のチェックシート」を用意しました。作成時の参考にしてください。

### 助成金申請書作成のチェックシート

- 事業の目的は、助成金提供者の目的に沿っていますか？
- 応募資格を満たしていますか？
- 応募要件（事業の実施期間、内容など）を満たしていますか？
- スケジュールに無理はありませんか？（締切、審査会への出席、報告書の提出期限など）
- 具体的かつわかりやすく書かれていますか？
- データや根拠が示されていますか？
- 自己中心的になっていませんか？
- 予算は応募要件（助成金の使途、総額、自己負担金の割合など）を満たしていますか？
- 審査基準が明記されている場合、それに沿って申請書が書かれていますか？
- 審査基準が明記されていない場合でも、事業がどのような成果を生み、その後どう持続するか書かれていますか？

参考文献：IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]『NPOマネジメント 第56号』

## ■助成金情報を得るには

### ○サポセンで情報収集

サポセン1階にある情報サロンには、全国の助成金の募集要項が置いてあります。また、希望通りすぐ応募できるような助成金が見つからなかった場合は、情報サロンにファイルしてある過去の助成金情報をご覧ください。

また、全国の助成金情報を集めた助成ガイドもありますので、ご活用ください。

### ○インターネットで情報収集

以下のサイトで助成金情報を収集できます。

- ・みやぎNPO情報ネット  
<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>
- ・CANPAN  
<https://canpan.info/>
- ・NPOWEB NPO・市民活動を支えるニュース&情報サイト  
<http://www.npoweb.jp/>

# サポセン 日記

## 避難訓練

30年以内に99パーセントの確立で発生するといわれている、宮城県沖地震。地震をはじめ、災害や火災への備えは施設の運営に欠かすことが出来ない仕事のひとつです。今回は、10月28日のサポセン休館日に行われた避難訓練についてお伝えします。

### ●サポセンにサイレンの音が！

穏やかな秋の日差しの中、館内中にけたたましい非常ベルの音が鳴り響きます！！

今日の休館日は年に2回行われる避難訓練が実施され、スタッフ全員がそれぞれ来館者役とスタッフ役にわかれ、シミュレーションを行いました。

### ●防災士からのアドバイス

避難訓練の前に、サポセンの7階事務用ブースに入居している日本防災士会宮城県支部の江川さんから、災害時の対応と備えについてお話をうかがいました。

サポセン内の危険箇所などについても解説していただき、改善が必要な点についての確認を行いました。



### ●いよいよ避難訓練

お話をうかがったあとは、いよいよ避難訓練です。5階交流サロン喫煙所より出火したという想定で訓練を実施しました。

利用者全員の避難が終了するまでに約10分かかり、今までの避難訓練よりも少し時間が長くかかったようです。訓練が終了した後は、江川さんを交えてスタッフ全員で反省会を行いました。



「障がいのある方や、高齢者の誘導など補助が必要な場合は、他の来館者さんにお手伝いをお願いしてはどうか」「ホールまで降りてきた人を、建物の外に避難誘導する際、どのような事に気をつけなければならないのか」など、スタッフからはいろいろな質問や感想が出てきました。それについて、江川さんからの的確なアドバイスをいただきました。

サポセンでは、もしもに備えて、今日も安心して利用していただけるよう、施設の安全管理に取り組んでいます。

(担当 大西 千佳)

## お知らせ ●○●

### 事務用ブースの 使用団体を募集します！

NPOやボランティア団体など、自発的で公益的な活動を行う団体で、事務所を必要としている方々に「事務用ブース」をお貸しします。



- 使用期間 平成22年 2月 1日～平成22年 8月31日
- 対 象 継続的に市民公益活動を行い、市内に専用の事務所を持たない団体(企業を除く)
- 募 集 数 3ブース(予定)
- 設 備 等 机、いす、ロッカー 面積約4㎡
- 使 用 料 月額 7,000円
- 使用団体は、提出書類及び1月中旬開催予定の選考会での説明内容等をもとに選考で決定します。
- 申込受付期間 12月 6日(日)～19日(土)  
9:00～21:00(日曜日は17:00まで)  
※12月16日は休館日のため受付しておりません。

■問い合わせ・申し込み先  
仙台市市民活動サポートセンター  
TEL 212-3010 FAX 268-4042

# 12月の イベント紹介

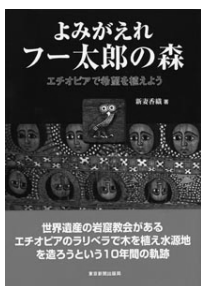
- サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
- 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
- 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。掲載をご希望の方はお問い合わせください。

## ●貸室での催し物

開催日時	イベントタイトル	貸室	参加費	主催/問い合わせ先
12月3日(木) 11:00~12:30	免疫力は心に比例しています。生き方や考え方を通して自然治癒力を高める代替医療セミナーです。	セミナーホール	無料 (事前申込必要)	アート・オブ・リビング仙台 携帯:090-3759-9453 Fax:022-356-6171 (福沢)
12月5日(土) 14:30~17:30	SOHOの為のネット営業セミナー ~SEO会社が明かすネット集客術~	研修室5	無料(交流会参加は3,000円) (事前申込必要)	日本ITイノベーション協会 東北ブロック本部 Tel&Fax:022-224-5882 (三浦)
12月5日(土) 14:00~17:00	子どもの非行や問題行動に親としてどう向き合えばいいのか?一緒に分かち合いませんか?	研修室4	500円 (事前申込不要)	みやぎ「非行」と向き合う親たちの会 携帯:080-1838-7464 (星野)
12月8日(火) 10:00~11:45	親業セミナー 「受験期の揺れる心を支えるコミュニケーション」	研修室2	500円 (事前申込不要)	PETフォーラム Tel&Fax:022-281-0858 http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/ (石田)
12月19日(土) 11:00~14:00	盗聴・盗撮の被害が心配な方への無料相談会	研修室4	無料 (事前申込必要)	NPO法人日本情報安全管理協会 東北(仙台)校 Tel&Fax:022-343-1245 (星)
12月23日(水) 11:00~13:00	ベビーケア・チャイルド・マッサージ	研修室3	1,500円 (事前申込必要)	Heartの会 携帯:080-1823-3146 Fax:022-222-8926 (曾根)

## ●市民活動シアターでの催し物

開催日	イベントタイトル	時間	入場料など	主催/問い合わせ先
12月6日(日)	Living Together in SENDAI 2009 after party!	13:00~17:00	入場無料 (1ドリンク500円)	東北HIVコミュニケーションズ、やろっこ Fax:022-268-4042 No.69
12月13日(土)	東北大学リコーダーアンサンブル 2009年コンサート	開場13:30 開演14:00	無料	東北大学リコーダーアンサンブル 携帯:080-6356-1509 (松崎)
12月23日(水)	ふうどばんく東北AGAIN チャリティーコンサート ISSEI Christmas Dreams	開場13:30 開演14:00	2,500円 (割引制度有)	NPO法人ふうどばんく東北AGAIN 携帯:070-5467-1214 (高橋)
12月26日(土)	第5回 ソナーレ チャリティーコンサート	18:00~20:00	5,000円 中学生以下2,000円	ソナーレ 携帯:090-3127-3263 (太田)



『よみがえれ一歩の森 エチオピアで希望を植えよう』

著者:新妻 香織  
発行:東京新聞出版局  
定価:1,600円(税込)

■この本は「H 環境」にあります。

著者の新妻さんは、棲みかを失ったふくろうのフー太郎と出会います。そしてエチオピアの赤く乾いた大地を旅する中で、緑が人間の心を潤していることに気づき、アフリカに木を植えようと決心します。その想いと行動力が人々の共感を呼び「フー太郎の森基金」が設立され、エチオピアへの支援が始まりました。現地駐在員や住民と協力し、植樹を行うだけでなく、現地の学校で環境教育を実施します。その結果、教育を受けた子どもたちが成長して環境NGOを立ち上げるなどの成果もあり、継続的かつ具体的な支援を行っています。著者は時には失敗し、時には専門家の協力のもと着実な成果を出していきませんが、それを「素人だからこそ何でもできた」と振り返ります。

そんな著者のお勧めの言葉は「不注意な一歩」。強い想いがあっても、叩き過ぎた石橋は壊れてしまい先に進むことは出来ません。だからこそ、まず一歩踏み出してみようというメッセージです。自然環境に興味のある方はもちろん、社会に疑問や問題意識を抱いている方など、何か始めなきたいという方の「はじめの一歩」を後押しする一冊です。

(担当 菊地 竜生)

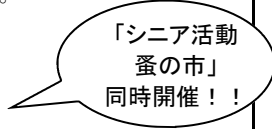
今月のサポ本  
『よみがえれフー太郎の森』  
エチオピアで希望を植えよう

# 主催イベントのお知らせ



<申込み> TEL 022-212-3010

日時	イベント内容	会場	料金
11月29日(日) 10:00~18:00 ※各イベントによって、開催時間が異なります。	<b>○サポセン10周年大感謝祭 こんなサポセン見たことない!!</b> <b>せんだいCARES 2009 タイアップ企画</b> 1999年に開館したサポセンも、おかげさまで10周年を迎えました。これまでの“感謝”とそしてこれからも“よろしく”の気持ちを込めて、サポセン10周年大感謝祭を開催します。 <イベント一例> ・NPOサイコロトーク ・NPO体験マーケット ・サポセン事務用ブースノウハウ交換会 ・CARES Café ・大交流会 イベントの詳細は、サポセンホームページをご覧ください！	サポセン全館	無料 ※飲食代は別途かかります。 (事前申込不要)
12月5日(土) 13:00~16:00	<b>●サポセン・シアターを3倍面白くする企画プログラム</b> <b>Living Together in SENDAI -another story-</b> <b>「映画+朗読+ラウンジ」で感じるHIVの今</b> ラウンジスタイルでの映画の上映と、HIV陽性者が書いた手記の朗読を行います。 主催：東北HIVコミュニケーションズ、やろっこ 問合せ先 Fax 022-268-4042[No. 69]	市民活動シアター (B1F)	無料 ※飲み物代別途かかります。 (事前申込不要)
12月15日(火) 19:00~20:30	<b>ONPOいろは塾</b> NPOの基礎について、90分で分かりやすく学びます。	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)



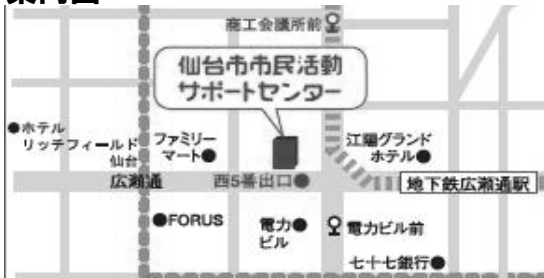
## 仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ < 申込み・問合せ > TEL 022-217-3983 仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)

日時	イベント内容	会場	料金
12月12日(土) 10:00~18:00	<b>◆専門相談</b> 地域でまちづくりの活動を行っている団体を紹介します！ まちづくりの活動のはじめ方や組織運営についての相談に応じます。	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
2010年 1月23日(土) 10:00~18:00	<b>◆セカンドライフ相談</b> テーマを定めず、セカンドライフの相談に、個別/グループで相談員が幅広く応じます。	研修室5 (4F)	資料代500円 (事前申込必要)

### ■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

### ■ 案内図



○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でお来館される方は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注) 路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停]

電力ビル前、商工会議所前、広瀬通一番町前、地下鉄広瀬通駅前

### ■ 開館時間

○平日 午前9時~午後10時

○日曜・祝日 午前9時~午後6時

### ■ 休館日のお知らせ(施設点検等のため)

**12/16 12/29~1/3**

### ■ 編集後記

◆月に数回、助成金情報を更新していますが、世の中にはいろいろな助成金があるんだなと感じます。今月のアラカルトを参考に、是非資金獲得を目指してください。(内川)  
◆現在サポセンは大感謝祭に向けて準備中。日に日に館内が賑やかになっています。当日はイベントが目白押しなので、ぜひご来館ください。お待ちしております。(菅野)

発行: 仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042

ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日: 2009年11月25日

編集: 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人: 内川奈津子 菅野祥子

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間: 2007年4月1日~2010年3月31日]